

経営発達支援事業評価シート【令和４年度版】

I．経営発達支援事業の内容

評価Ａ：目標以上の実績、評価Ｂ：概ね目標に近い実績、評価Ｃ：概ね目標の半分程度の実績、評価Ｄ：ほぼ実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	
		R03	R04	R05	R06	R07	実績値	自己評価			
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】											
地域の経済動向分析の公表回数	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容（補助金活用含む）	事業計画策定の際に地域経済分析システム（RESAS）を活用し、経済動向の分析を行い小規模事業者が求める情報を提供し支援を行った。	—
									もたらされた効果や課題	小規模事業者が必要とする情報を提供することにより、事業計画策定の際にブラッシュアップすることが出来た。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	国が提供するビッグデータを活用して、事業者へ情報を提供するとともに、景気動向調査を行うことで、小規模事業者へフィードバックし、事業計画策定へとつなげて参ります。	
地域内の景気動向分析の公表回数	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容（補助金活用含む）	事業計画策定の際に地域経済分析システム（RESAS）を活用し、地域内の景気動向分析を行い小規模事業者が求める情報を提供し支援を行った。	—
									もたらされた効果や課題	小規模事業者が必要とする情報を提供することにより、事業計画策定の際にブラッシュアップすることが出来た。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	国が提供するビッグデータを活用して、事業者へ情報を提供するとともに、景気動向調査を行うことで、小規模事業者へフィードバックし、事業計画策定へとつなげて参ります。	
2. 経営状況の分析に関すること【指針④】											
経営分析件数	—	22件	25件	30件	30件	30件	20件	B	実施内容（補助金活用含む）	ネットde記帳システムを利用している事業者に対して、システム内の分析グラフを活用して経営分析を実施した。	—
									もたらされた効果や課題	経営分析を行うことで、現状を把握することができ、うち2件は事業計画策定に繋がった。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	経営課題を明確にして事業計画策定に繋げるため、事業者と情報を共有し取組みを行う。	
3. 事業計画策定支援に関すること【指針⑤】											
セミナー開催	有	1回	1回	1回	1回	1回	2回	A	実施内容（補助金活用含む）	インボイス制度対応セミナー（25名・うち小規模事業者19名出席）とITを活用した事業計画策定セミナー（3名出席）を開催した。	有
									もたらされた効果や課題	インボイス制度への理解力を深めることができ、各事業者がインボイスを登録するべきか否かを判断することが出来た。ITを活用した事業計画策定セミナーにおいては、2件の事業計画策定支援に繋げることが出来た。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	出席者数を増やすために、対象事業者を掘り起し、事業計画策定の重要性を認識させ、積極的な出席を促します。	
事業計画策定件数	有	7件	12件	15件	15件	15件	3件	C	実施内容（補助金活用含む）	必要に応じて専門家と連携し、各種補助金を申請の際に事業計画書作成の必要性を伝えることができた。	有
									もたらされた効果や課題	小規模事業者が前向きな事業計画策定に取組み、経営の持続的発展に期待が持たれる。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	巡回訪問等を通じて事業計画策定が必要な事業者の掘り起こしを行うと共に経営環境の変化に対応し、事業者自らが実行できる計画書の策定ができるよう専門家と連携して取り組みいたします。	
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針⑥】											
フォローアップ対象事業者数	有	1件	15件	20件	20件	25件	24件	A	実施内容（補助金活用含む）	事業計画を策定した事業者1社に対して、専門家と連携しながらフォローアップを行った。またフリーペーパー活用による販路開拓事業者や展示会出展事業者に対してフォローアップを行った。	有
									もたらされた効果や課題	ニーズに対応した事業計画の見直しを行い、事業者の目標が明確になった。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	事業計画を策定した事業者が目標を達成するための支援を専門家と共に臨機応変に行う。	
フォローアップ支援頻度（延べ回数）	有	1回	75回	100回	100回	125回	63回	B	実施内容（補助金活用含む）	事業計画を策定した事業者に対し毎月1回、経営指導員が巡回訪問等を通じ、進捗状況を把握し、事業計画の見直しを行った。	有
									もたらされた効果や課題	補助事業の事業計画策定後の進捗状況を把握したところ、途中で計画にズレが生じたため、原因を究明し修正した。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	事業計画を策定した事業者が目標を達成するための支援を専門家と共に行う。	

経営発達支援事業評価シート【令和４年度版】

I．経営発達支援事業の内容

評価Ａ：目標以上の実績、評価Ｂ：概ね目標に近い実績、評価Ｃ：概ね目標の半分程度の実績、評価Ｄ：ほぼ実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	
		R03	R04	R05	R06	R07	実績値	自己評価			
5. 需要動向調査に関すること【指針③】											
地域内需要動向調査対象事業者数	—	0	3	3	4	4	2 3	A	実施内容（補助金活用含む）	「ライナー旭川」（地域フリーペーパー）に付随して、アンケート調査（需要動向調査）を実施した。	—
									もたらされた効果や課題	来店者 3 4 9 名からの結果を事業者にフィードバックし、需要動向を確認することができた。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	今後も調査内容を事業者と精査しながら、地域内需要動向調査を継続して参ります。	
物産展・展示会・商談会等需要動向調査対象事業者数	—	0	8	8	1 0	1 0	3	C	実施内容（補助金活用含む）	東京ギフトショー2023において需要動向調査をおこなった。	—
									もたらされた効果や課題	首都圏における調査結果を事業者にフィードバックしたことにより、商品開発へステップアップすることができた。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	引き続き地域内・展示会等の需要動向調査を行い、分析結果を事業者にフィードバックする。	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】											
展示会出展支援事業者数	—	0 件	3 件	3 件	4 件	4 件	2 件	B	実施内容（補助金活用含む）	9 月に旭川駅内で行われた「駅マルシェ2022」に出展した、パン製造小売業者 2 件に対し、出展前→出展中→出展後までの支援をおこなった。	—
									もたらされた効果や課題	地域外に出展することにより、新たな需要の開拓に繋げることができた。1 件は事業者自身が販売をおこなったため、商品の説明や思いをお客様に宣伝できていたため、販売促進にも繋げることができた。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	対象事業者を掘り起こし、今後も出展に関する案内を随時行い、販路開拓支援を継続して実施する。	
商談会出展支援事業者数	有	0 社	5 社	5 社	6 社	6 社	3 社	B	実施内容（補助金活用含む）	鉄鋼業者と銘木業者に対して出展支援を行った。木工業者はチラシのみでの参加。	有
									もたらされた効果や課題	東京ギフトショー2023の「グランピングゾーン」で商品の P R を行い、鉄鋼業者は事業者へ焚火台の説明 1 2 9 件、名刺交換事業者 1 1 7 件、見積書の作成依頼 6 件、商談成立 2 件でした。銘木業者は事業者へ木材や加工品の説明 9 5 件、名刺交換事業者 8 2 件、見積もりの作成依頼 6 件、商談成立 2 件でした。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	東京で 3 日間の開催は、多くの方が来場された。今まで参加した商談会の中では一番効果があったが、目標には届いておらず、継続して出展支援を行って参ります。	
フリーペーパー作成による販路開拓支援事業者数	有	0 社	5 社	5 社	5 社	5 社	23社	A	実施内容（補助金活用含む）	コロナ禍により、売上が落ち込んでいる飲食業や宿泊業等を選定し、「ライナー旭川」（地域フリーペーパー）を活用し、販路開拓支援事業を行った。付随して来店者へのアンケート調査（需要動向調査）も行った。	有
									もたらされた効果や課題	付随して行った、来店者 3 4 9 名からアンケート調査（需要動向調査）を実施したところ、「初めて来店した」は 1 4 3 名あり、新たな需要開拓に繋げることができました。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	今後もヤル気のある事業所の選定をし、事業計画策定を行った上で販路開拓支援を行ってまいります。	
パンフレット作成による販路開拓支援事業者数	有	0 社	8 社	8 社	8 社	8 社	3 社	C	実施内容（補助金活用含む）	東京ギフトショー2023の「グランピングゾーン」に出展した 3 社に対して、パンフレットを作成し、当ブースに興味がありそうな来場者に配付を行った。	有
									もたらされた効果や課題	3 社 1 組で 3 日間の合計 2 9 3 組を来場者へ配付した。ブース前が混み合った場合や急いでいる来場者に対してもパンフレットを配付し対応したことにより、首都圏での商品宣伝をすることが出来ました。	
									今後の対応等（補助金活用含む）	今後も商談会等に出展する事業者に対して、事前準備としてパンフレット作成による販路開拓支援を行って参ります。	
ホームページ活用による販路開拓支援事業者数	—	0 社	3 社	5 社	5 社	8 社	0 社	D	実施内容（補助金活用含む）	今回は実施に至らず、事業者自らが確立してホームページ活用をしているため、支援までは至っておりません。	—
									もたらされた効果や課題		
									今後の対応等（補助金活用含む）	事業者がホームページを必要と判断または相談があった場合には「グーペ」等を活用し、支援を行って参ります。	
P R 動画作成による販路開拓支援事業者数	—	0 社	5 社	5 社	5 社	5 社	0 社	D	実施内容（補助金活用含む）	今回は実施に至らず、P R 動画作成の事業者の掘り起こしが必要であります。	有
									もたらされた効果や課題		
									今後の対応等（補助金活用含む）	事業者が P R 動画作成を必要と判断または相談があった場合には「Youtube」等を活用し、支援を行って参ります。	